

・

東海道線の小田原の一つ先に「早川駅」があります。「漁港に一番近い駅」として有名です。その早川駅から一つ熱海寄りの「根府川駅（ねぶかわえき）」までは、東海道線でも最も海の景色が美しい区間です。トンネルにはさまれた高台の線路から、相模湾が一望できるのです。しかし、一度この区間を歩いてみたいと思い、地層の観察をしながら踏査してみました。

海沿いには国道、その上に東海道線の線路、その上に東海道新幹線の線路があり、徒歩で歩ける道は標高の高い場所にあります。集落と鉄道の線路を縫うように歩きながら、ミカン畑の丘の頂上まで歩きました。そこは今までに見たこともない景観の場所でした。「近景」にミカン畑、「中景」に東海道線と新幹線、そして「遠景」に相模湾と小田原の街……。5分か10分待てば、はるか眼下に湘南電車（東海道線の列車）や新幹線が通ります。鉄道模型のジオラマを眺めているような風景でした。

この日は植物や岩石を観察しながら、実に 22,000 歩も歩きましたが、不思議と疲れはほとんど感じませんでした。早川駅前には、観光案内所（土日祝のみ開設）があり、詳しい地図がもらえます。その地図を見ながら歩けば迷わないので、是非一度歩かれることをおすすめします！

（2025 年 4 月下旬／神奈川県小田原市郊外）

